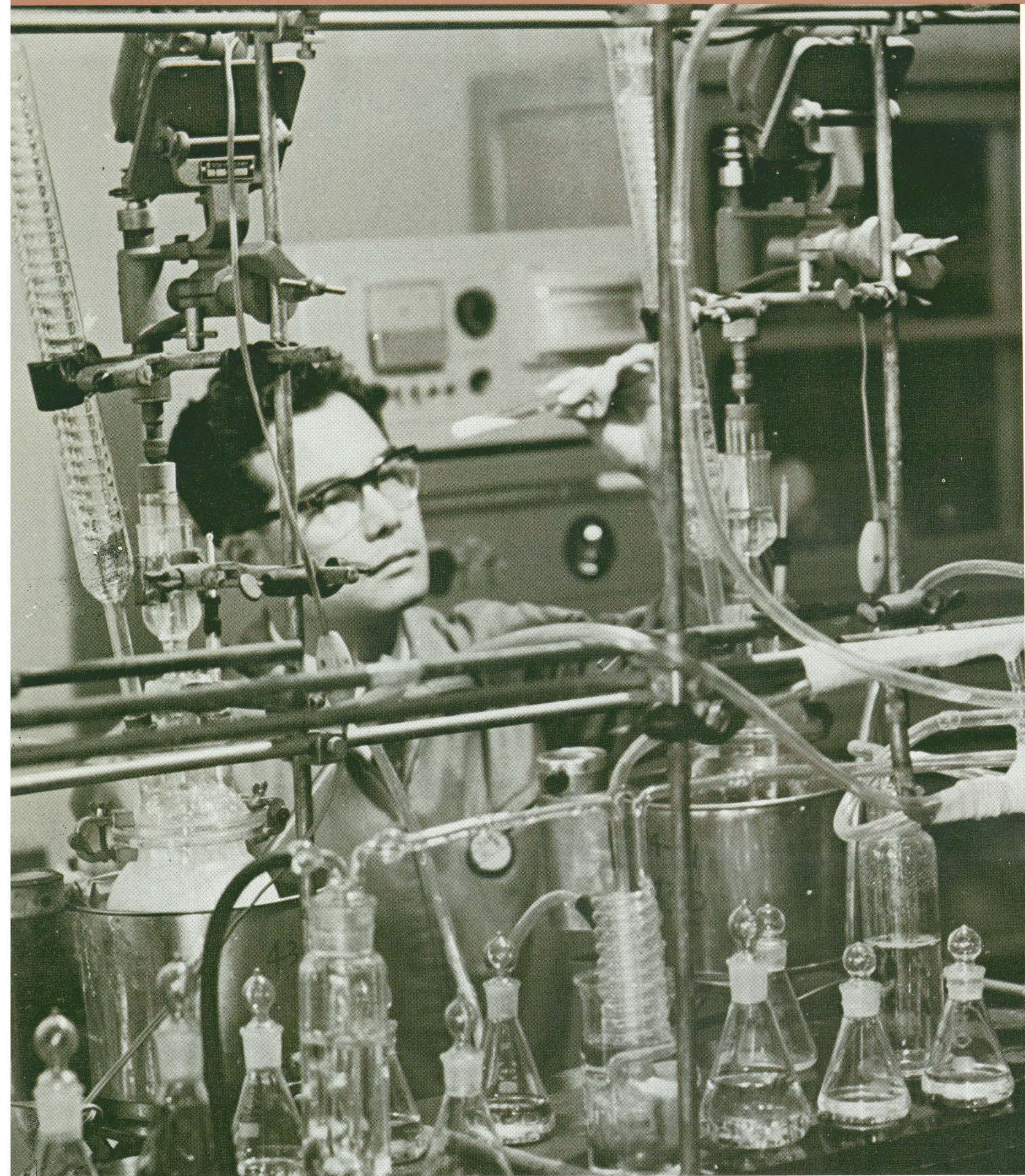




モレキュラデザイン時代

An Age of Molecular Designing

昔、舎密学は錬金術の一種として魔法使いの領分に属していた。現代の有機化学者達も彼等の先祖の魔法使いに負けてはいない。小はトランジスタを封入する樹脂材料から、大は記録的な300,000kVAの大形発電機の絶縁材料に至るまで、時代の先端を行く各種製品が有機材料に望む要求は限りなく苛酷である。より強く、より柔軟に、より高温に耐え、より長寿命に、そしてより安く、有機化学者達は、こうした要求に応じて、巧みに分子の構造を設計し、原子の配置を置き換えて、要求にあった有機材料を次々に開発している。

こうした現代の魔法使い達はモレキュラデザイナというしやれた名前で行われている。
(日立製作所 日立研究所)